

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 万々教室（単位2）		
○保護者評価実施期間	2025年2月8日		～ 2025年2月22日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31人	(回答者数) 13人
○従業者評価実施期間	2025年2月8日		～ 2025年2月22日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7人	(回答者数) 4人
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月13日		

○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	計画書作成に当たっては、面談により、利用者様と保護者様のニーズと課題を共有した上で、個々の内容が作成されており、さらには計画書に沿った支援内容の提供がされているとの評価を受けております。	利用者様と保護者様に対して、定期的に必ず面談を行っております。面談は状況に合わせて利用者様と保護者様一緒に、もしくは個別にお話させていただいております。課題内容によっては、個別での取り組みも行い、個々の目標に沿った支援をさせていただいております。	今後も利用者様と保護者様との面談を大切に、目標を明確にして支援をさせていただきます。また、集団療育の良さを生かしながら、必要に応じて個別療育も行っていきます。さらには、集団療育の中でもレベル毎のグループ分けを行い、より個々の課題に合わせた支援を実施していきます。
2	日頃の利用者様の様子について、保護者様との情報共有について、十分な共通理解ができていると評価を受けております。	保護者様とは、送迎時や面談、お電話、連絡アプリ等で、常日頃情報共有ができることを心掛けております。ちょっとした変化や気になることなど、いつでもご相談いただけますようお願いさせていただいております。	今後も保護者様とは密な情報共有が行えるよう、日頃から良好な関係を築いていけるよう心掛けていきたいと思っております。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	スペースの確保について	定員とする10人の利用者様がカリキュラムを行うためのスペースとしては確保されているものの、より個別的な課題に対応するためのスペースや、小グループでの活動を行うためには、別スペースが必要な場合もあると感じています。	支援内容のさらなる充実化を図るために、別室スペースの確保についても検討していきたいと思っております。
2	保護者会開催について	保護者様同士の交流の機会を設けることができていない現状があります。以前、日曜日開所でそのようなイベントを企画したことがありましたが、参加希望者が少なかった経緯もあり、開催に当たってはより多くの方が参加できるための工夫が必要と思われます。	開催の内容、方法や日程調整について検討し、たくさんの方に参加していただける形で計画していくことが必要であると思っております。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 万々教室(単位2)

公表日 2025年3月14日

利用児童数 31人

回収数 13人

	チェック項目	回答				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	10	1	1	1	少し手狭に感じる	・最大10名まで利用が可能で、活動に必要なスペースは十分に確保出来ております。また、授業中には作業がしやすいように机を移動させる等の方法で作業スペースを確保しております。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10			3		・毎日の職員の配置数は平均5名以上の配置を行っております。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	11	1		1		・教室の構造はシンプルで、教室と面談室、静養室をわかりやすいよう明記しております。玄関に段差はありますが、フロアはフラットフロアでバリアフリーに配慮した造りになっております。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	11	1		1		毎日清掃、消毒作業を行っており、衛生的な環境を心掛けております。また、パソコンやインターネットなどを含め、利用者様が快適に活動に参加できる環境を整えております。
適切 な 支 援 の 提 供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	2		1		コミュニケーション面の支援に、SSTやグループワークの授業に重きを置いて取り組んでおります。また、就労をイメージして社会性を身に付けるための授業もたくさん取り入れております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	1				・支援内容は1日2コマの支援で毎日違った内容で行っております。主にPCトレーニング・SSTトレーニング・作業実践トレーニングを中心に課題を提供し将来の進学や就労を支援しております。また視覚的にも分かりやすいように、プロジェクターを使用した映像を用いた支援を行っております。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	12	1				・半年に1回以上の面談を通して、利用者様と保護者様のニーズや課題を共有させていただき、支援計画書を作成しております。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	12			1		・個別支援計画書において、「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目を設定しております。内容については、一人一人の個別具体的な課題に対する具体的な取り組みと現実的に達成可能な目標を設定しております。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	11	1		1		計画書の内容は施設職員間で情報を共有させていただき、個々の課題や目標に沿った支援を提供しております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	10	1		2		・個々の特性やレベルに合ったプログラムを作成して取り組んでおります。また療育企画会議の中で、活動内容の見直しを行い、状況に応じた内容に変更されています。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	2	4	3	4		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討してまいります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	3	2	4		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討してまいります。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	11	2				・保護者様には、日々の活動や気付きについて連絡帳で必ずお伝えさせていただいております。また送迎時にお会いできる保護者様には様子についてお伝えしております。内容によっては電話でご連絡もさせていただいております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12	1				・半年に1度のモニタリングの際に、児童発達支援管理責任者が保護者様に支援内容や助言等詳しく説明しております。また個人面談をご希望の保護者様はお気軽にお申し付けください。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	11			2		・職員は、日々利用者様の様子や変化を観察し、不安な気持ちを抱えているようであれば傾聴し、気持ちを理解、共感できるよう努めております。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	3	3	2	5		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討してまいります。

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			3		・いつでもご相談を受け入れております。また、そのような体制については、契約時や面談時にお伝えしておりますが、なお周知を図りたいと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	12			1		・面談時の情報伝達の他、現在、連絡帳は「HUGシステム」、予約やご利用の変更等のご連絡は「HUGシステム」「お電話」で承っております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11			2		・ホームページ・SNSを活用して、今後も毎日の活動や教室の取り組みを積極的に発信していきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12			1		・個人情報の漏洩がないよう努めております。個人情報に記載された書類は鍵付きのキャビネットに保管し、書類等は必要に応じてシュレッターで裁断処理しております。今後も十分に注意するように努めます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1		1		・各種マニュアルは常に教室内に開示しておりいつでも閲覧が可能です。今後はアプリ上においても閲覧可能にします。 ・各マニュアルにおける訓練を実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	10	1		2		・月に一度、地震、火災、洪水、送迎時を想定した避難訓練を行っております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12			1		・災害時マニュアルを作成し、事業所内に掲示し各送迎車にも配備しております。また、HUGシステム上に公開し、保護者様がいつでも参照できる形にしております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	9			4		・事業所内で事故が発生した場合には、適切な対応を取り、速やかに保護者様に報告させていただいております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	11	2				・安心して通っていただけるよう、丁寧で細やかな対応を心掛けております。何かお困りの点がありましたらお気軽にお申し付けください。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	9	4				・活動の充実を図り、日々利用者様が楽しみながら学べる環境を整えるための努力をしております。今後も自主性や主体性を持って取り組める授業を展開していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	10	3				・「社会性とコミュニケーション能力を養い、将来の自立に向けた支援をする」アルペン清和の理念に則り、療育の強化を図るための努力をしております。より利用者様一人一人の力になれるよう職員一同支援に努めて参ります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス アルペン清和 万々教室(単位2)				公表日	2025年3月14日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4				
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	1	個室を用意して活動することができるようにしています。	・個室の一つは壁の修繕が必要ですが、他の部屋は使用できる状態です。修繕後、快適な環境を提供できるよう改善します。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		・現時点で第三者委員会などの外部評価は実施していない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4				
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4				
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3	1	・半年に1回以上の面談を通して、本人様と保護者様のニーズや課題を共有させていただき、支援計画書を作成しております。	保護者だけでなく児童とも面談を行うように改善できればと思います	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4				
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4				
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	1		・現在、利用者様の適応行動は日々の行動観察を通じて確認していますが、標準化されたアセスメントツールは使用していないと認識しています。今後は、より体系的に利用者様の適応行動を把握するために、標準化された評価ツールの導入を検討し、支援の質を向上させていきます。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				

支援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	1	・毎日、必ず支援終了後に職員間でミーティングを行い、支援の振り返りと情報共有等しております。 ・保護者様からの連絡帳による連絡事項は、ミーティング時に必ず共有し、支援内容に反映しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	4			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定する力を育てるための支援を行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4			
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	1		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	1		・今のところ機会はありませんが、参加を検討していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1		・今のところ機会はありませんが、必要に応じて検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3	1	・利用者様や保護者様の意思を尊重し、最善の利益を考慮することを重視しています。そのため、支援計画の作成・見直しの際に、保護者様との面談を通じて意向を確認する機会を設けています。また、日々の活動を通して、利用者様自身の意向や興味を把握し、支援に反映できるよう努めています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	2	2		・今後、必要に応じて行う予定です。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		・初回面談時に、服薬・てんかん発作の有無を把握し、服薬・てんかん発作のあるお子様については家庭と連携を図り対応しております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4				